

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	05	0401	農村施設整備事業費
総合計画	分野	しごと			
	政策	1-4	観光の振興		
	施策	1	観光の魅力向上		
目的	農村施設の快適な利用及び観光客を対象に農畜産物の消費拡大を図るための環境整備				
対象	農村施設				
意図	施設整備を行うことで、観光資源の充実を図る				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
【経緯】	H24 >> 危険性が認められるため、施設の利用を停止 H25 >> 3月定例会及び大迫地域協議会へ施設の現状について説明を行い、撤去 H26 >> 大迫観光施設見直しに係る市長協議の中で再整備を検討（8月～11月） H27 >> ・7/16市長協議…ステージ&倉庫、芝広場及び駐車スペースを整備する素案を説明 ・7月下旬～8月上旬…通年利用の上屋整備なし方針を関係者に対し説明し了承を得た。 ・9/11…通年利用の上屋整備なし方針を説明する住民説明会を開催 9名参加 ・9/30…住民説明会結果を地域協議会へ説明 ・10/8市長協議…意見聴取の結果報告と「人工芝」「天然芝」の種類選択に係る意見聴取指示有 ・10/21市長執務…地域の方と童話村等の現地を確認するよう指示有				
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①		計画			
		実績			
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・旧施設は、危険性が認められ取り壊しを行った経緯があり、市が主体的に整備を実施する必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・整備することで観光資源の充実が図られ、観光地としての魅力が向上する。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・現場の実態に合わせた工法等を検討しており、現場によっては代替性が乏しいことから、削減の余地はない。また、限られた人員の中で現場等との調整を図る必要性があり、人件費についても削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・観光客及び地域住民の利便性の向上を図るために行う施設整備であることから適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
危険性が認められたため平成25年度に取り壊しを行った旧カントリープラザの再整備について、観光客及び地域住民の利便性向上を図るため、早急に進める必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課 担当係長 吉田幸弘 内線 165

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	01	05	0401	農村施設整備事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			4,775		4,775
財源内訳	国・県				
	地方債		4,700		4,700
	その他				
	一般財源		75		75

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部経営方針における目標
観光資源の充実と発信力を高め、交流人口の拡大と観光客満足度の向上を図ります。

事業開始の背景・経緯

- 危険性が認められ取り壊しを行った旧施設の再整備を早急に行う必要がある。
- 観光客に対するおもてなしの向上を図るため、観光施設の整備を行う必要がある。

事業概要

- 【経緯】
- H24 >> 危険性が認められるため、施設の利用を停止
 - H25 >> 3月定例会及び大迫地域協議会へ施設の現状について説明を行い、撤去
 - H26 >> 大迫観光施設見直しに係る市長協議の中で再整備を検討(8月~11月)
 - H27 >>
 - ・7/16市長協議…ステージ&倉庫、芝広場及び駐車スペースを整備する素案を説明
 - ・7月下旬~8月上旬…通年利用の上屋整備なし方針を関係者に対し説明し了承を得た。
 - ・9/11…通年利用の上屋整備なし方針を説明する住民説明会を開催9名参加
 - ・9/30…住民説明会結果を地域協議会へ説明
 - ・10/8市長協議…意見聴取の結果報告と「人工芝」「天然芝」の種類選択に係る意見聴取指示有

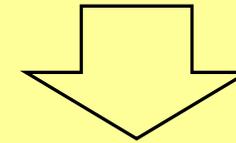
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- 【課題】 市長より芝の種類(人工芝か天然芝か)の選択について、地域住民の意見を反映するよう指示有→人工芝とした。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

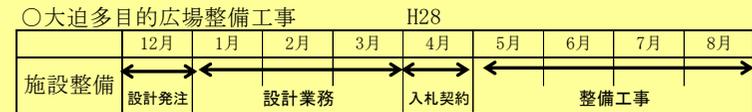
【現状】

- 取り壊しを行ったままの状態
- ・市民から現状を早く改善し、イベント等で使えるよう整備を求める声がある
 - ・ぶどうの丘で活動する事業者から、多目的に使える広場と駐車場整備を求める声がある



【施設整備の実施】

H27 ○設計等業務 測量・設計業務委託 6,200千円(12月補正)



工事 88,100千円(3月補正)
「H27→H28繰越」



おもてなしの向上

- 【整備方針】
- 各種イベントに利用できる常設ステージやぶどうの丘地域の更なる魅力向上や「ぶどうの丘」に位置する施設間の連携を想定した大型バスが利用できる駐車スペースを確保した多目的広場として整備する。